

誰でもが、いい家を求められる、社会環境をめざして

特定非営利活動法人NPO 新住協

家づくり自己チェック7項目

今つくろうとしている、
あなたの家はどうなってますか？

1. 快適に暮らせる家になっていますか？

暑い季節にはより涼しく、寒い季節には暖かく暮らしたいのが住まい。
住宅構造の高断熱高気密化は快適に暮らすための基本性能です。
その性能は一時的なものではなく持続しなければなりません。

ここに
注目！

- 住宅の基本性能
- 高断熱高気密

2. 長持ちする家になっていますか？

経済の高度成長時代は終わりました。
社会的にも経済的にも住宅が20~30年で建替えられる時代ではなくなりました。
これからの住宅は構造的に長持ちする耐久性を持たなくてはなりません。

ここに
注目！

- 構造的な高耐久

3. 永く暮らせる家になっていますか？

家が百年でも長持ちするための「造る技術」はできました。
「人が永く暮らせる」家について考えなくてはなりません。
高齢化、不慮の事故、家族の増減、エネルギー事情や環境の変化に対応できる
家を計画しなければなりません。地域の景観や社会性にも配慮した家が望まれます。

ここに
注目！

- デザイン ●間取り
- 地域性
- 加齢対応

4. 地震や火災に強い家になっていますか？

火災による焼死者が報じられています。また、日本は地震国、東海や東北、
首都圏の地震もそう遠くない内に必ずあるといわれています。
地震による災害は倒壊と火災です。万が一の大地震や火災に対して
安全な備えをしていますか。断熱材の中には激しく燃焼するものがあります。
●使用する断熱材の特性を知る必要があります。

ここに
注目！

- 耐震
- 耐火
- 断熱材の選定

5. 地球環境にやさしい家になっていますか？

建材は生産時から消費、廃棄するサイクルの中で環境に様々な影響を大きく及ぼします。
オゾン層拡大、地球温暖化など誰もが未来の地球環境を考えて行動しなければならない
時代になっています。CO2削減の観点からも、住宅にかかる省エネルギーを
考えた家づくりが必要です。日射熱を有効に利用するためにも高断熱高気密が基本性能です。

ここに
注目！

- CO2削減
- 省エネ省資源
- 自然エネルギー

6. さらに上を行く省エネに配慮されていますか？

冷暖房機器や換気、開口部の工夫で、大きく省エネできます。
また、給湯など生活エネルギーは省エネ型の設備機器の選定も大切です。

ここに
注目！

- 省エネ設備機器

7. 誠心誠意をもって、住まいづくりに当たっていますか？

住まいは、ユーザーの大きな財産を預かってる仕事です。
自動車のように、4~5年我慢して買い換えるというわけにはいきません。
誠心誠意をもって住まいづくりにあたる協働の関係ができていますか？

ここに
注目！

- 作り手と
住まい手の協働